

令和 6 年 10 月 理事会報告			
広報-HP, 生涯教育, 食育推進, 在宅医療-介護, スポーツ栄養・JDA-DAT 委員会			
日時	8月 1日(木) 時間: 20:00~21:30	場所	Zoom
出席者 (名簿順)	後藤千穂(委員長, 研教), 内林英子(部長, 福祉), 高橋恵理香(医療), 谷口郷子(学校), 塩野恵子(勤労), 服部しげこ(地活), 田中雅子(福祉), 吉田明子(担当三役, 医療), 永戸馨子(事務局) 欠席: 森田充留(公衆)		
協議事項 及び 決定事項	<p>1. 本年度の運営方法</p> <p>①メンバー紹介、会議担当の決定 → 会議設定および司会: 部長、書記: 持ち回り</p> <p>②目的および目標: 吉田副会長より説明があり、委員で共有した。基本研修の位置づけは日栄の生涯教育制度の「資料 2.基本研修項目一覧」参照。認定取得者に対して実習の単位が取得できる研修の場を設けることの検討が必要になる旨の説明があった。</p> <p>③生涯教育基本研修:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後藤より説明(三役承認済み)。今年度から生涯教育基本研修(2日間。10/26, 11/30)は日本栄養改善学会東海支部会と共催する。学会の事業申請・承認の日程の都合上、今年度の部長および生涯教育委員会のメンバーが決まる前にすすめる必要があり、後藤が日程・会場・内容等を調整した。会員へ周知(チラシの郵送)、申し込み開始済み。 ・現在決まったところまでの栄養士会及び学会の分担表を共有する。(後藤から送付) ・申込状況は事務局から CC で委員メンバーと共有する。 ・申込み人数に応じて、一斉 ML または LINE を活用予定。その際、実践報告会 2024 年での発表を啓発する文を含める旨の提案があった。 ・研修会当日: 司会は後藤。その他は日程調整後に検討する。協賛の資料配布有。 ・今年の開催は申請期間の都合により 2 日間の開催。グループディスカッションの時間およびグループ内での情報共有のため、部会 Zoom の使用を理事会に諮る。 ・事業計画書の修正提出が必要。後藤が作成・報告する。 <p>④実践報告会 2024: 2025 年 1 月 25 日(土)にウイックあいちで開催(ハイブリッド)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書の修正提出が必要。内林部長が作成・報告する。 ・前半に全会員参加の「相談会(報告できなかった事例/困った事例)」等を行う案が出た。その際、講師 3 名程度、ファシリテータ 2 名をつける(案)。今後検討する。 <p>2. 2025 年度の運営: 研修会の難易度や開催方法については今後の検討とする。</p> <p>3. 次回会議日程: 今後は 1 回/月程度で開催予定。次回は 9 月上旬で調整する。</p>		
理事会での検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯教育基本研修(共催)の講師依頼状の差出はどことするか。なお、参加領収書は 2 団体併記が決定済み。 ・生涯教育基本研修受講者の情報共有の場としての部会の Zoom 使用の許可。 		
今後の検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯教育基本研修の意義の周知方法。(若手会員に魅力を伝える等) ・実践報告会は参加しやすさを考慮してハイブリッドとするが、対面が重要であることを周知する。 ・実践報告会の開催方法: 前半(基調講演でなくお悩み相談等)後半(報告会)とする等。 		
委員会の課題	研修会の難易度。個人でパソコンを持たない会員への対応。(今年度の招待教育基本研修は参加者が演習に参加できないことを了承すれば、複数名でのパソコン共有可とした)		

令和 6 年 10 月 理事会報告

広報-HP, 生涯教育, 食育推進, 在宅医療-介護, スポーツ栄養・JDA-DAT 委員会

日 時	9月2日(月) 20:00~21:00	場 所	Zoom
出席者	後藤委員長、内林部長、高橋(医療)、谷口(学校)、森田(公衆)、服部(地活)、田中(福祉)、吉田(担当三役)、永戸(事務局)、眞野(学術部、公衆)、近藤(学術部・研教) 欠席：塩野(勤労)。		
協議事項 及び 決定事項	<p><議題></p> <p>1. 生涯教育基本研修</p> <p>①学術部員の挨拶</p> <p>②研修会時の生涯教育委員の役割分担について：受付・会場設営・片付け 後藤委員長(学会と兼務)に加え、吉田常務理事、内林学術部長が出席。(10月は内林部長欠席)</p> <p>③その他(前回会議の際の未定事項含む)</p> <p>講師依頼：学会側から召喚状作成、発送 講師関連の支払い(お弁当も含む)：学会 後藤委員長(学会と兼務)分の支払い関連は、県栄が担当 Payventの手数料は県栄が担当 会員からの質問の件(PC)：講師に確認し返答待ち中</p> <p>④当日の集合時間等：未定、開催に近くなったら連絡 確定した受講者名簿：事務局より後藤委員長(学会と兼務)に加え、吉田常務理事、内林学術部長へ送信</p> <p>⑤生涯教育基本研修受講者の情報共有の場としての部会の ZOOM 使用 内林部長の ZOOM を使用計画。ZOOM 利用の申し込み：代表者が内林部長に連絡し日時を設定</p> <p>2. 実践報告会 2024 参加費：学生は 1000 円→500 円。 開催時間：13:30 から(会場の使用が 13:00 からとなるため) 会場：2部屋とする(参加予定者 70名、1部屋 42人用のため) 事例報告の締切：12/13(金)とし 12/16(月)に確認し事例数によって募集期間の延長 など検討 当日の時間配分：事例報告の症例数との兼ね合いで検討</p> <p>3. 周知方法など 生涯教育委員会研修会：部会、LINE などを用いてアナウンス 実践報告会 2024：予告チラシ作成、部会、LINE などを用いてアナウンス。アナウンスは平田さんへ依頼する。 研究大会を含む開始年の再確認(2012年より後だったはず)：事務局が確認する</p> <p>4. 日本栄養士会主催の生涯教育の担当者会議：内林部長が参加</p> <p>5. 来年度運営：未定 案 1：県栄主体での研修(講師も県栄で手配) 案 2：学会と共に、ファーストステップ編+中級編(学会とも要相談) 会員のニーズに沿った研究発表以外の研修会などを、学術部としての事業計画、生涯教育委員としての事業計画を立てていく必要がある。</p> <p>6. 次回の委員会日程：未定 9/7の理事会後、必要に応じて召集、会議を開催する。</p>		
理事会での 検討事項	・生涯教育基本研修受講者の情報共有の場としての部会の ZOOM 使用許可		
今後の 検討事項	<p>・生涯教育基本研修の意義の周知方法。(若手会員に魅力を伝える等) 継続</p> <p>・実践報告会(お悩み相談・事例報告)の時間配分</p> <p>・次年度の事業計画</p>		
委員会の課 題	<p>・ホスト不在での開催方法、代替ホストをもちいた使用方法について確認</p> <p>・会員のニーズに沿った、研究発表以外の研修会の事業計画を立案</p>		